

12月15日 尾張南部にて橋梁点検講習会を実施しました

～ 24時間、安全な道路を支えるために ～

わが市町村の橋は我が手で守る

平成26年7月1日より定期点検に関する省令・告示が施行され、全ての道路管理者は5年に1回、トンネルや橋などの道路構造物について近接目視を基本とする点検を行い、健全性の診断結果を4つに区分することになりました。



【写真】橋梁研修講習会（座学）の様子。

「愛知県道路メンテナンス会議」では、県内の地方公共団体支援の一環として、自治体職員を対象に道路橋の点検等に関する技術力向上のための橋梁点検講習会を開催。

橋梁点検講習会では、橋梁点検のポイントや損傷状況の判定など、点検のポイントや損傷状況の判定など、点検に必要な基礎知識を習得するための講習会と実橋を用いた現地実習を行いました。

橋を知ることは事故を未然に防ぐこと

尾張南部の点検講習会は、平成26年12月15日（月）に開催され、名古屋市南区にある国道23号名南橋（下り）において、参加した自治体職員が現地点検を行いました。

■尾張南部点検講習会

開催日	平成26年12月15日（月）
場所	橋梁研修講習会（名古屋国道事務所会議室） 橋梁現地点検講習（国道23号名南橋（下り））
参加者	愛知県、名古屋市、津島市、愛西市、大治町、蟹江町、飛島村、東海市、知多市、南知多町、武豊町等、計36名

ポイント



国道23号名南橋（下）現地点検

チェック



排水管のズレがないか！

チェック



橋桁に亀裂がないか！